

『歩く県道・東松峠（越後街道）』

地域づくりニュース Vol.1

会津若松建設事務所管内の交通不能区間となっている旧街道（越後街道（東松峠））について、平成21年度から、「歩く県道」として利活用するための整備・保全計画の検討を行ってきました。

今年度も街道修繕の実証実験を通じ、地域の活性化に繋げる取り組みについて、地元の方々や関係自治体等と一緒に考えていきます。

第1回利活用検討会の開催概要

平成25年9月27日（金）午後6時30分より 東松公民館にて

◆参加者◆ 東松峠を護る会会員、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員、会津坂下町役場、会津若松建設事務所企画調査課 合計 18名

◆話し合われたこと◆

今までの取り組みを振り返り、今年度の検討会の開催予定をお知らせしました。

実証実験の目的を再確認し、今年度の施工箇所や施工方法について話し合いました。

これまでの取り組みについての感想や意見を伺いました。



実証実験の施工方法についての確認

- 道幅が狭くなっている箇所については、山側を掘削して1.5m程度の道路幅員を確保する。山側の法尻と谷側の路肩を保護するために丸太土留工を施工する。
- 路肩に粗朶柵を設置する。雪で押されて倒れる心配もあるが、試験的に施工し、経過を観察する。粗朶柵は注意喚起の意味もあり、道標にもなる。
- 洞門広場手前のぬかるみのある箇所について、山側側溝と横断側溝を施工して谷に水を流し水はけを良くする。また樹木の伐採や枝打ち等の景観整備を行い、終着点としての雰囲気をつくる。

今までの取り組みについての感想や意見

- 継続的に道普請に参加していただき、作業手順や施工方法等の技術を伝承していく事が大切になる。地域の知恵や技術を深めていく必要がある。
- 地域で道普請を継続して行っていくための仕組みを作っていきたい。
- 今後も検討会や実証実験を継続したいので、引き続き行政の支援をお願いしたい。
- 地元消防団に協力を呼びかけるなど、一般ボランティアも含めた若い世代の参加が必要である。
- 施工箇所周辺には、クルマユリやヒメサユリ等の植物がたくさん生育している。自然保護の観点も踏まえた上で街道整備を行う必要がある。
- ウォーキング大会の時に道普請の写真を展示して、護る会の活動や歩く県道整備の取り組みをPRすると良いのではないかな。

東北芸術工科大学の学生の参加がありました

H23年度の道普請の様子



H24年度の道普請の様子



地元消防団や一般ボランティアの参加がありました。

東松峠で街道修繕の実証実験（道普請）を行いました

平成 25 年 10 月 5 日（土）・6 日（日）

参加者 東松峠を護る会会員、東北芸術工科大学の学生・教員、関係自治体等 2 日間で延べ 84 名

県道別舟渡線の交通不能区間となっている越後街道（東松峠）を利活用し、今後の地域づくりに繋げていくために、街道修繕の実証実験（道普請）を行いました。



今年度は道幅を広くしたり、路面のぬかるみを改善するための横断側溝と山側側溝の整備、粗朶柵や土留として石積工の施工を中心とした作業を行いました。

資材の運搬や掘削、丸太の打込みはすべて人力で行いました。粗朶柵の材料は地元の協力を得て、施工箇所周辺の柴木を伐採して使用しました。路肩に杭が入りにくく施工方法を石積工に変更するなど、作業は試行錯誤の連続でしたが、参加者全員が協力して 2 日間の日程を無事に終了することができました。

砕石の運搬。何回も繰り返し行うので重労働です。



石積工の施工。形が不成型な石を安定するように積み上げる作業は根気が必要です。



横断側溝の丸太杭打設。交代しながら杭の打込みを行いました。



掘削作業や資材の運搬、番線を使用している丸太の固定作業など、1 人 1 人が自分の役割を果たしました。



学生のみなさんが施工した粗朶柵。杭の位置やスパンも自分達で考えて見事に完成。



横断側溝、山側側溝と粗朶柵を施工した、洞門広場前の様子。



今後は路面のぬかるみの改善状況や雪による粗朶柵への影響などについての経過を観察するとともに、施工方法が適切であったかについての検証を行っていきます。今回は 2 日間で延べ 84 名の参加がありましたが、今後もより多くの人に参加していただき、道普請だけに限らず色々な視点からご意見をうかがう事ができれば、地域づくりの活動にさらに広がりがあると思われます。

～道普請終了後にそば会を開いていただきました～

2 日目の作業終了後、東松公民館で地元の人達が打って下さった蕎麦をおいしく頂きました。食事の後、学生のみなさんから伺った感想をご紹介します。

- ❖ 地元の人達と交流ができて楽しかった。
- ❖ 土や石の素材に触れて作業する機会がもてて良かった。
- ❖ 護る会の人達の作業に自分達が協力できてよかった。
- ❖ 前回参加した時は雨。晴れた東松峠を歩いて新しい景色を発見した。
- ❖ 来年もまた来ます。ウォーキング大会にも来ます。

